

Ⅱ 殺菌剤

注1) 基準書中の『使用回数』……………一適用病虫害で、農薬の種類、名称、剤型毎の使用できる回数。

注2) 基準書中の『本剤の使用回数』……………適用病虫害に関わらず、農薬の種類、名称、剤型毎で使用できる回数。

注3) 基準書中の『下記成分を含む農薬の総使用回数』……………適用病虫害に関わらず、同一成分を含む農薬の種類毎に使用できる回数。

分類	種類	名称	剤型 (有効成分含量)	農薬コード (単位)	農薬の使用法			農薬の使用法				毒性		留意事項	
					適用病害	希釈倍数	10a当たり 使用量	使用時期	処理方法	使用回数	本剤の使用回数	下記成分を含む農薬の 総使用回数	毒性		魚毒性
ピリジナジウム系殺菌剤	フルアジナ △剤	フロンサイド	水和剤 (50%)	1500 (g)	菌核病	1,000 倍	200 ml/株	大土寄期まで	株元灌注	1	1	フルアジナムを含む 農薬 1	普通物	C	<ul style="list-style-type: none"> ・眼、皮膚に対し刺激性があるので注意すること。 ・保護効果主体の剤であり、病源菌に感染した後の処理では効果が不十分な場合があるため注意すること。 ・薬剤を株元灌注処理する際は、株元灌注専用のノズルを使用すること。幹間移動の際は薬液の吐出を止めて、1本ずつ株元へ確実に灌注すること。 ・頭に対し影響があるので注意すること。

P43参照